本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

100件のテレメモ／ワールドタイム
アラーム・時報／1/100秒ストップウオッチ

1888＊JA

取扱説明書

1888

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったキー操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

■本機の特長

- ●電池が消耗しても、入力したデータが保持されるメモリー（EEPROM）を使用しています。
- ●ELオートライト…暗いところで時計を傾けると表示を明るく照らします。
- ●画面にさわるだけで操作ができるタッチスクリーンを使用しています。
- ●テ　レ　メ　モ…「名前8文字、数字12桁」のデータを最大100件まで記憶できます。
- ●ワールドタイム…世界29タイムゾーン（40都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻がわかります。
- ●その他、5本の時刻アラーム、時報、ストップウオッチ機能が付いています。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。
ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
●「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
●万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。



⚠注意

オートライト作動時のご使用について

登山やハイキングなどで、暗く足元の不安定な場所で、歩きながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒やけがの原因となることがあります。

夜間、自転車やバイクなどを運転しながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となることがあります。

夜間、車両が通行する道路や路面の安全を確認できない走路などで、ランニングをしながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。交通事故、転倒の原因となることがあります。

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

■データの保護について

●本機は電池が消耗しても記憶させた内容が保持されるメモリー(EEPROM)を採用しておりますが、以下の場合には、記憶内容が消えたり、変化することがありますのでご注意ください。

・本体を分解したとき
・故障・修理のとき
・極度の静電気や衝撃を与えたとき
・極端な外的環境下(特に低温下)で使用したとき
・電池交換の方法をまちがえたとき

●「万一の事故」、「故障・修理」、「腕時計本体の紛失・盗難」などのときのために、特に重要なデータについては必ず「名刺など元になるものを残しておく」か、「別のノートなどに書き写す」などして控えを残しておいてください。
※付録の備忘録を利用すると便利です。

〈お願い〉
電池が消耗すると、"▦▦▦"マークが点灯し、メモリーしたデータを見ることができなくなります(30ページ参照)。
"▦▦▦"が点灯するときは、お早めに電池交換されることをおすすめします。なお、電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーション(裏表紙に記載)にお申し付けください。

本機を使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

目　次

安全上のご注意 …… 表紙裏面
データの保護について …… 4
デモ機能について …… 5
本機をご使用になる前に …… 6
メモリーについて …… 7
操作のしくみと表示の見方 …… 8
表示照明用ELバックライトについて …… 10
テレメモの使い方 …… 12
ワールドタイムの使い方 …… 16
アラーム・時報の使い方 …… 19
ストップウオッチの使い方 …… 21
時刻・カレンダーの合わせ方 …… 22

(付録)
Q&A …… 24
備忘録 …… 25
製品仕様 …… 27
ご使用上の注意 …… 28
お手入れについて …… 29
電池交換について …… 30

■デモ機能について

本機は工場出荷時に「デモ(デモンストレーション)機能」に設定してあります。デモ機能ではワールドタイムの表示を繰り返し表示します。
(この間、通常のボタン操作はできません)

●デモ機能の解除
[ ] キーを約3秒間(確認音が鳴るまで)押し続けます。

●デモ機能の設定
解除するときと同様に[ ]キーを約3秒間押し続けます。



(約3秒間)

本機をご使用になる前に

■タッチスクリーンについて

本機は「タッチスクリーン」で操作を行なうことができます。操作の際は以下の点にご注意ください。

- ●本機のキー操作は「指先」で行なってください。ボールペンなど先のとがった器具で押すと、キー（タッチスクリーン）に不具合を与えることがあります。
- ●本機の表面部は、ガラス面の上にタッチスクリーンを重ねたものです。そのため、見る角度によっては「透明電極やニジミ（ニュートリング現象）」が見えることがありますが、機能上の支障はありません。
- ●＋60℃以上のところに本機を長時間放置すると、キー（タッチスクリーン）に不具合を与えることがあります。
- ●本機は防水構造ではありません。多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- ●温度が高いところや標高が高いところでは、タッチスクリーンがふくらむことがあります。元の温度、標高になれば戻ります。タッチスクリーンがふくらんでいても、機能上の支障はありません。
- ●タッチスクリーンは、押し方によっては隣のキーに入ることもありますので、1つ1つ確実にゆっくり押してください。

■タッチスクリーンの操作について

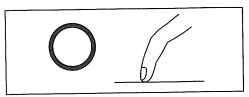
本機は、画面上のキーを押して操作を行ないます。それぞれのキーの位置は以下のとおりです。

※タッチしたいキーの▭部分にあたる所（下図参照）をめがけて、指の腹をたててスクリーンに触れていただくと、キーが効きやすくなっております。

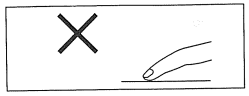
（例：時刻モードのとき）
※キーの表示内容は各モードにより異なります。



＜正しい操作＞
指の腹をたててスクリーンに触れるように操作する。



＜誤った操作＞
指の腹をねかせてスクリーンを強く押して操作する。

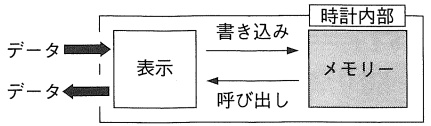


メモリーについて

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。

■メモリーのしくみ

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。本機にデータを入力すると、自動的にメモリー（EEPROM）に書き込みます。データを探すときは、このメモリーから該当のデータを呼び出し、表示します。



■保持されるデータ

以下のデータは電池が消耗しても消去されません。

・テレメモ…… 名前／電話番号
計100件
（1件＝名前8文字＋電話番号12桁）

※テレメモモードのデータについて詳しくは12ページをご覧ください。

■電池が消耗すると（電池切れ予告機能）

電池の消耗時期が近づくと、下図のような“電池切れ予告表示”となります。操作時に、この表示になるときは、お早めに電池交換を行なってください。

※電池交換は、必ずお買い上げの店、または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

電池切れ予告中にデータ呼び出し、入力などの操作を行なうと、“▮▮▮▮”を表示して、電池切れ予告表示となります。このとき、データ呼び出し、入力操作はできなくなります。また、アラーム・時報や操作確認音の報音、ライト点灯は行ないません。
（30ページ参照）

電池切れ予告表示



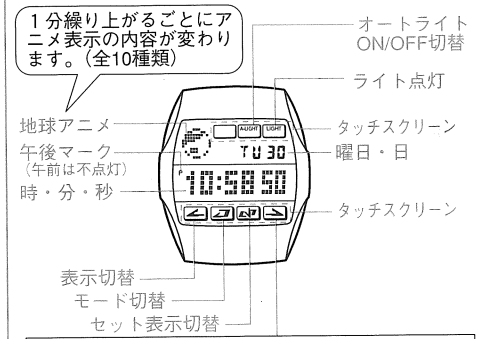
操作のしくみと表示の見方

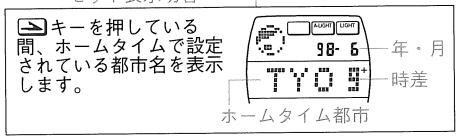
※本機は、画面上のキーを押して操作を行ないます。

キーを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。
※テレメモモード、アラームモードのまま2～3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。
※各モードで何らかのキー操作（ライト点灯は除く）を行なった後に キーを押すと、直接時刻モードに戻ります。

時刻モード

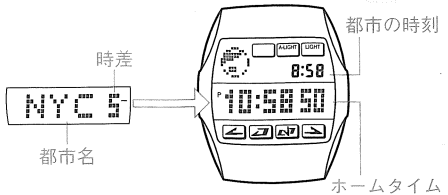
〈時刻・カレンダー表示〉





★表示切替
〈時刻・カレンダー表示〉のとき、キーを押すとホームタイム＊に加えてワールドタイムモードで選ばれている都市の時刻を上段に表示します。
※もう一度 キーを押すと〈時刻・カレンダー表示〉に戻ります。

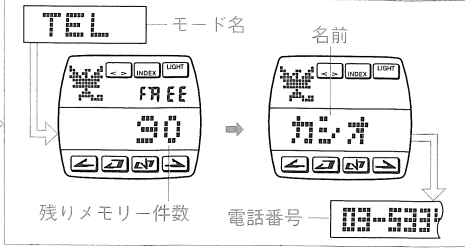
〈時刻・ワールドタイム表示〉



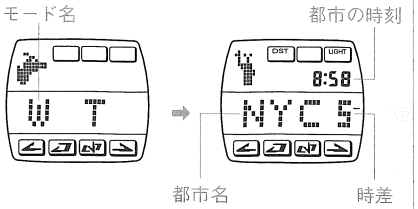
★曜日の見方
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水
TH：木　FR：金　SA：土

＊ホームタイム…時刻モードの〈時刻・カレンダー表示〉で表示される時刻。（基本時刻）

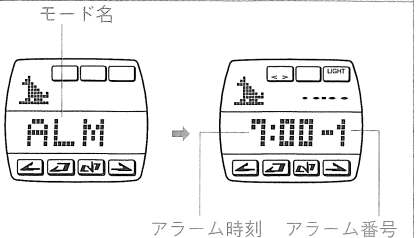
テレメモモード



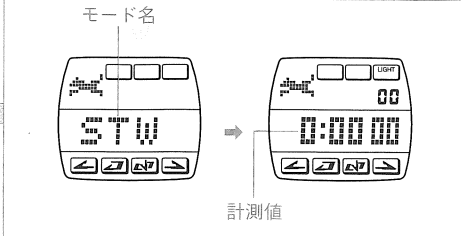
ワールドタイムモード



アラームモード



ストップウオッチモード



表示照明用 ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して発光させる～手動発光～

LIGHT キーを押します

→ LIGHT キーを押すと約２秒間文字板が発光します。

アニメ表示



※時刻モードのとき LIGHT キーを押すと、文字板の発光と同時にアニメ表示の内容が変わります。（全10種類）
※文字板発光中に LIGHT キーを押すと、その時点から引き続き発光します。ただし、LIGHT キーを５秒間押し続けるとその時点で発光が消えます。
※オートライトOFFのときも LIGHT キーを押すと発光します。

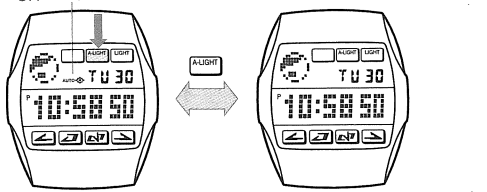
■時計を傾けて発光させる～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。
暗い場所で、時刻やストップウオッチの計測値などを見るときに大変便利です。

オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約２秒間発光します。

準備　時刻モードのとき A-LIGHT キーを１～２秒間押し続けて、オートライトON（AUTO 点灯）にします。

オートライトONマーク



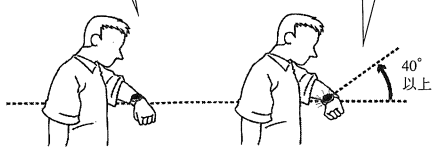
〈オートライト作動します〉　〈オートライト作動しません〉

※オートライトONのとき、A-LIGHT キーを１～２秒間押し続けるとオートライトOFF（AUTO 不点灯）に戻ります。
※オートライトON/OFF設定は、時刻モードのときのみ行なえます。

●文字板を発光させる

①
時計を腕にはめ、水平にします

②
水平状態から、表示が見えるように約40°傾けます



※オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。
※文字板の左右（３時－９時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



〈EL発光についてのご注意〉

●直射日光下では発光が見えにくくなります。
●発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

●オートライトが作動するのは、“AUTO”を点灯させてから**約３時間**です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に“AUTO”が消え、オートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度 A-LIGHT キーを１～２秒間押して“AUTO”を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。（27ページ「製品仕様」参照）

●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。

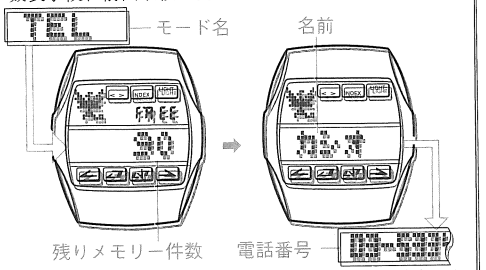
●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約２秒間のみとなります。

●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。**
※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

テレメモの使い方

テレメモモードに切り替えた直後は、残りメモリー件数表示後、前回最後に見たデータを表示します。



※名前を表示後、電話番号を表示します。なお、名前表示中に ◁▷ キーを押すと、すぐに電話番号を表示します。もう一度 ◁▷ キーを押すと名前表示に戻ります。

■テレメモ機能について

テレメモモードでは名前8文字、電話番号12桁を最大100件まで記憶できます。
データを入力すると、名前順に並び替え(自動ソート*)が行なわれますので、データを探すときにたいへん便利です。

*自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順序は（スペース）、カタカナ（ア～ン）、アルファベット（A～Z）、数字、（0～9）、記号（－、.、／、：）の順です。

■テレメモデータ入力

(1)テレメモモードのとき、

〈空ページ表示〉

▽ または △ キーを押して空ページ表示にします。(右図)

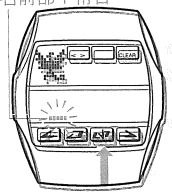


★ "FULL" 表示になるときは…
すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから再度セットを行なってください。
(「■テレメモデータ消去」参照)

(2)セット表示にする

名前部1桁目

SET キー約1～2秒間押し続けます



→"NAME" と表示され、名前部の1桁目が点滅します。

(3)名前を入力する（最大8文字まで）

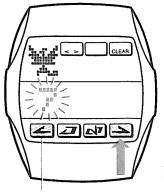
名前が点滅しているとき、以下の操作（文字を選ぶ、桁を選ぶ）を繰り返して入力します。
※入力できる文字は、スペース、カタカナ(ア～ン)、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、記号(－、.、／、：)です。

文字を選ぶ　▽ または △ キーを押します

→ ▽ キーを押すごとに点滅箇所の文字(数字)が進み、△ キーを押すごとに戻ります。

※ ▽ ・ △ キーとも、それぞれ押し続けると早送りします。

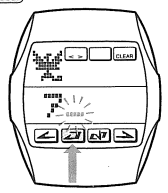
※カタカナのときは、押し続けるとア段（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）での早送りとなります。



（戻る）（進む）

桁を選ぶ　SET キーを押します

→ SET キーを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目～8桁目→名前部1桁目…」の順で移動しますので、文字を入力したい桁を点滅させます。



(4)名前の入力が終わりましたら、

◁▷ キーを押します

→"No." と表示され、電話番号1桁目が点滅します。

※もう一度 ◁▷ キーを押すと、点滅が名前部1桁目に戻ります。



電話番号1桁目

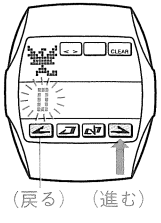
(5)電話番号を入力する（最大12桁まで）

番号部が点滅しているとき、以下の操作（数字を選ぶ、桁を選ぶ）を繰り返して入力します。
※入力できる数字は0～9、－（ハイフン）、スペースです。

数字を選ぶ　▽ または △ キーを押します

→ ▽ キーを押すごとに点滅箇所の数字が進み、△ キーを押すごとに戻ります。

※ ▽ ・ △ キーとも、それぞれ押し続けると早送りします。



（戻る）（進む）

桁を選ぶ　[▱] キーを押します

→ [▱] キーを押すごとに点滅箇所が「電話番号1桁目～12桁目→電話番号1桁目…」の順で移動しますので、数字を入力したい桁を点滅させます。



(6)すべての入力が終わりましたら、

[▱] キーを押します

→自動ソートが行なわれ、新規入力表示（名前部1桁目点滅）になります。なお、続けて他のデータを入力することができます。

(7) もう一度 [▱] キーを押すと、点滅が止まります

※名前部を5文字以上、番号部を7桁以上入力したときは、文字が横に流れるスイープ表示となります。

※点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

※テレメモモードのまま2～3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

■テレメモデータ修正

(1)テレメモモードのとき、修正したいデータを [▱] または [▱] キーを押して選びます。

(2) [▱] キーを約1～2秒間押し続けて、セット表示（名前部1桁目が点滅）にします。

※番号部を修正するときは、セット表示にした後、[▱] キーを押して番号部を表示させます。

(3) [▱] キーを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、[▱] ・ [▱] キーで正しい文字（数字）を表示させます。

(4)データ修正後、 [▱] キーを押します。

■テレメモデータ消去

(1)テレメモモードのとき、消去したいデータを [▱] または [▱] キーを押して選びます。

(2) [▱] キーを約1～2秒間押し続けて、セット表示（名前部1桁目が点滅）にします。

(3) [CLEAR] キーを押すと、"CLR"表示が点滅し、さらに1秒間押し続けると確認音が鳴りデータが消去されます。

※データ消去後は、引き続き他のデータを入力することができます。

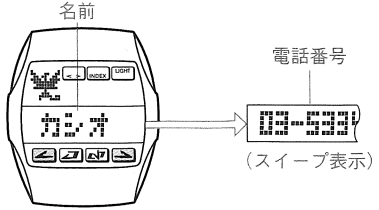
(4) データ消去後、 [▱] キーを押します。

■テレメモデータを探す

テレメモモードのとき、[▱] または [▱] キーを押します

→ [▱] キーを押すごとにテレメモデータが名前順に進み、 [▱] キーを押すごとに逆方向に進みます。

※ [▱] ・ [▱] キーとも、それぞれ押し続けると早送りします。



名前を表示後、電話番号を表示します。
なお、名前表示中に [▱] キーを押すと、すぐに電話番号を表示します。もう一度 [▱] キーを押すと名前表示に戻ります。

●インデックスサーチ

名前の頭文字を選ぶと知りたいデータが表示される機能です。

(1)テレメモモードのとき、

[INDEX] キーを約1～2秒間押し続けます

→インデックスサーチ表示になります。



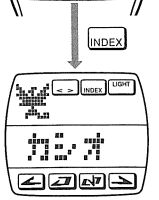
(2) [▱] または [▱] キーを押して名前の頭文字を選びます

※入力されているデータの頭文字のみ表示します。



(3) [INDEX] キーを押します

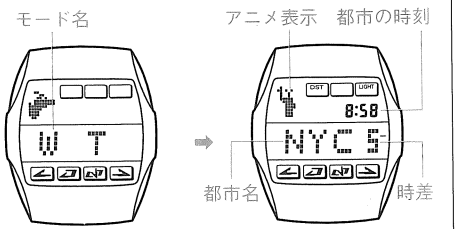
→その頭文字のデータが表示されます。



※同じ頭文字のデータが複数あるときは、先頭のデータが表示されます。 [▱] または [▱] キーを押してデータ検索を行なってください。

ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。



■ワールドタイム機能について

ワールドタイムは世界29タイムゾーン（40都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を簡単に知ることができる機能です。

時刻モードでホームタイムおよび都市名をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。（22ページ「時刻・カレンダーの合わせ方」参照）

※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動しています。

※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

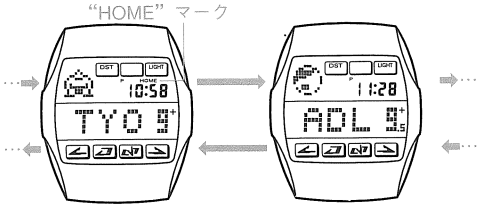
■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、▶ または ◀ キーを押します

→各都市の時刻が表示されます。

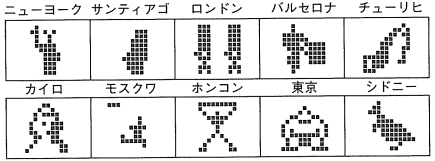
※ ▶ ・ ◀ キーとも、それぞれ押し続けると早送りします。

※ホームタイム都市を表示しているときは、“HOME” マークが点灯します。



★アニメ表示について

・下記の都市を選んだときは、都市別のアニメを約15秒間表示します。



・その他の都市を選んだときは、地球アニメを約1秒間表示した後、選んだ都市に合わせて地球儀上の位置を表示します。

■サマータイムの設定

（1）ワールドタイムモードのとき、▶ または ◀ キーを押して、サマータイム設定したい都市を選びます。

（2） DST キーを約1～2秒間押し続けます

→ “DST” マークが点灯し、サマータイム設定*になります。

＊サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。“DST” は、サマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。



※サマータイムは各都市ごとに設定することができます。

※“GMT” 表示のときは、サマータイム設定はできません。

※“DST” マークが点灯しているときに DST キーを約1～2秒間押すと通常の時刻に戻ります。

★ワールドタイムとホームタイム都市の入れ替え

ワールドタイムとホームタイムの都市を簡単に入れ替えることができます。（ホームタイム都市設定機能）

※ワールドタイムモードで都市の入れ替えを行なうと、時刻モードでの表示（ホームタイム／ワールドタイム）も自動的に入れ替わります。旅行先で一時的に表示を替えて日付・曜日を見たり、アラームを鳴らすときなど便利です。

（1）ワールドタイムモードのとき、▶ または ◀ キーを押して、入れ替えたい都市を選びます。

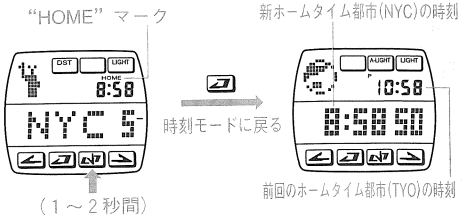
（2） ▶▶ キーを約1～2秒間押し続けます

→“HOME”マークが点灯し、ホームタイム都市になります。

※ ◀ キーを押すと時刻モードに戻ります。

※元の表示に戻すときは、もう一度上記（1）、（2）の操作を行なってください。

例）ワールドタイム“NYC”とホームタイム“TYO”を入れ替える



■ワールドタイム都市コード一覧

都市コード	時差	都市名	都市コード	時差	都市名
― ― ―	−11		CAI	＋2	カイロ
HNL	−10	ホノルル	JRS		エルサレム
ANC	−9	アンカレジ	MOW	＋3	モスクワ
YVR	−8	バンクーバー	JED		ジッダ
SFO		サンフランシスコ	THR	+3.5	テヘラン
LAX		ロサンゼルス	DXB	＋4	ドバイ
DEN	−7	デンバー	KBL	+4.5	カブール
MEX	−6	メキシコシティ	KHI	＋5	カラチ
CHI		シカゴ	DEL	+5.5	デリー
MIA	−5	マイアミ	DAC	＋6	ダッカ
NYC		ニューヨーク	RGN	+6.5	ヤンゴン
SCL	−4	サンティアゴ	BKK	＋7	バンコク
CCS		カラカス	SIN	＋8	シンガポール
RIO	−3	リオデジャネイロ	HKG		ホンコン(香港)
― ― ―	−2		BJS		ペキン(北京)
― ― ―	−1		TPE		タイペイ(台北)
GMT	±0	(グリニッジ標準時)	SEL	＋9	ソウル
LON	±0	ロンドン	TYO		東京
BCN	＋1	バルセロナ	ADL	+9.5	アデレード
PAR		パリ	SYD	+10	シドニー
ZRH		チューリヒ	NOU	+11	ヌーメア
ROM		ローマ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は1997年12月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

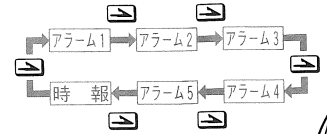
アラーム・時報の使い方

5本の「月日時分」を設定できるアラーム機能と、毎正時（00分）に電子音で知らせる時報機能があります。

※アラーム・時報はホームタイムに合わせて鳴ります。

■アラーム時刻の確認

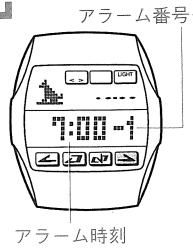
アラームモードのとき、[LIGHT]キーを押します



の順で表示が切り替わります。

※[LIGHT]キーを押すと、逆方向に表示が切り替わります。

※[LIGHT]・[MODE]キーとも、それぞれ押し続けると早送りします。



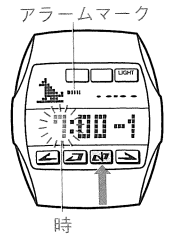
■アラーム時刻の設定

(1)アラームモードのとき、[LIGHT]または[MODE]キーを押して、設定したいアラーム番号を選びます。

(2) [MODE]キーを約1～2秒間押し続けます

→アラーム時刻の「時」が点滅します。

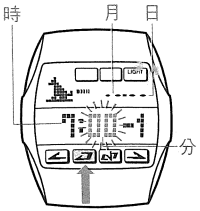
※アラームマーク“ ”が点灯し、自動的にアラームONになります。

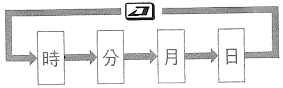


(3)セット箇所を選ぶ

[MODE]キーを押します

→[MODE]キーを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





(4)点滅箇所のセット

[▷ または ◁ キーを押します]

→ ▷ キーを押すごとに点滅箇所の数字が進み、◁ キーを押すごとに戻ります。

※ ▷ ・ ◁ キーとも、それぞれ押し続けると早送りします。



[(3)～(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。]

※ホームタイムを24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

※「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

毎日鳴らしたいとき→「時・分」のみセット
1ヶ月間毎日鳴らしたいとき→「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らしたいとき→「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らしたいとき→「月・日・時・分」すべてセット

(5) [セットが終わりましたら、▽ キーを押します]

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

※アラームモードのまま2～3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

■アラーム・時報のON／OFF設定

(1)アラームモードのとき、▷ または ◁ キーを押して、ON／OFF設定したい表示（アラームまたは時報）を選びます。



(2) [◁▷ キーを押します]

→ ◁▷ キーを押すごとにマークが点灯／消灯を繰り返します。



※アラーム表示のときはアラームマーク“ ”、時報表示のときは時報マーク“ ”が点灯／消灯します。マークが点灯しているときがON、消灯しているときがOFFとなります。

■モニターアラーム

アラームモードのとき、◁▷ キーを押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのキーを押すと、音が止まります。

ストップウオッチの使い方

ストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を越えると、以後0に戻って繰り返し計測を続けます。

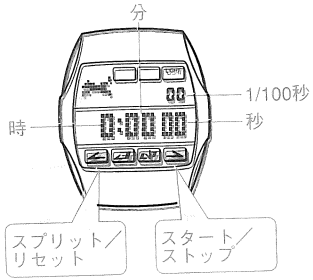
■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

[▷ キーを押すごとに計測開始／終了します]

※計測中に ◁ キーを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。もう一度 ◁ キーを押すとスプリットが解除されます。

*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。



●通常計測

▷ → ▷ → ◁

スタート　ストップ　リセット

〈積算計測〉

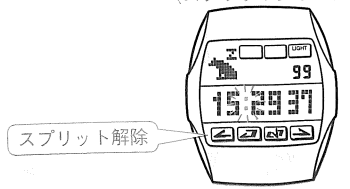
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに ◁ キーを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

▷ → ◁ → ◁ → ▷ → ◁

スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット

〈スプリット表示中〉



●1・2着同時計測

▷ → ◁ → ▷ → ◁ → ◁

スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。

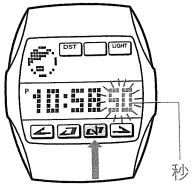
■秒の合わせ方…±30秒以内の遅れ/進みの修正

月に一度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

（1）時刻モードのとき、

[ ] キーを約1～2秒間押し続けます

→「秒」が点滅します。



（2） [ ] キーを押します

→「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



（3） セットが終わりましたら、 [ ] キーを押します

→秒の点滅が止まり、セット完了です。

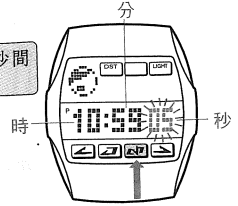
※点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

■時刻・カレンダーの合わせ方
（ホームタイム都市の設定）

（1）時刻モードのとき、

[ ] キーを約1～2秒間押し続けますます

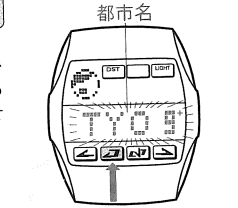
→「秒」が点滅します。

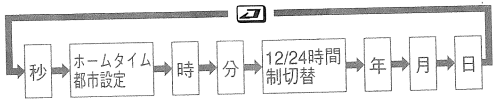


（2）セット箇所を選ぶ

[ ] キーを押します

→ [ ] キーを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



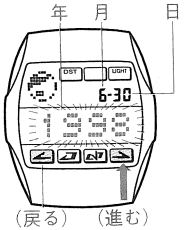


（3）点滅箇所のセット

[ ] または [ ] キーを押します

→ [ ] キーを押すごとに点滅箇所の数字が進み、 [ ] キーを押すごとに戻ります。

※ [ ] ・ [ ] キーとも、それぞれ押し続けると早送りします。



●サマータイム設定

表示が点滅しているときに、 [DST] キーを押すと“DST”マークが点灯し、サマータイム設定*になります。

※“DST”マークが点灯しているときに [DST] キーを押すと、通常の時刻に戻ります。

*サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。



（2）～（3）の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

★「ホームタイム都市設定」のときは、 [ ] または [ ] キーを押すごとに都市名が切り替わります。(18ページ「■ワールドタイム都市コード一覧」参照)

例）東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市名を“TYO”に設定します。

★12／24時間制切替のときは、 [ ] キーを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前／午後“P”または24時間制“24”にご注意ください。

※年は1995～2039年まで合わせることができます。なお、曜日は年月日を合わせると自動的に算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正する必要はありません。

（4） セットが終わりましたら、 [ ] キーを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

付録

Q&A

Q1 どうして電池が消耗してもデータが保持されるのですか？

A データメモリー部に、メモリー保持のための電源を必要としないEEPROM*を使用しているからです。ただし、このメモリー部に対して、極度の静電気や衝撃を与えたり、極端な外的環境下（特に低温下）で使用した場合、データが変化したり、消えてしまったりすることがありますのでご注意ください。念のため、入力したデータは必ず他のノートなどに控えておくことをおすすめします。

*EEPROM＝Electrically Erasable Programmable Read-Only Memoryの略

Q2 “▦▦▦”マークが表示されるのですが？

A これは、電池容量が減り、消耗時期が近づいていることを知らせる合図です。この表示が出るときは、お早めに電池交換を行なってください。なお、このときは、テレメモデータの呼び出し／入力、ワールドタイムモードでの都市のサーチ、アニメ表示およびライト点灯、時刻アラーム、時報、操作確認音の報音は行ないません。

Q3 電池交換はどこで行なえばよいですか？

A 電池交換は、本機をお買い求めになった販売店、または本書巻末に記載のカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。お客様ご自身で、むやみに裏蓋を開けたり、電池交換を行なったりすると、入力したデータが消えてしまうことがありますので、ご注意ください。

備忘録

万一に備え、メモリーしてあるデータをこの備忘録にメモしておくことをおすすめします。
※足りない場合はコピーしてお使いください。

name	TEL

name	TEL

name	TEL

name	TEL

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差±15秒以内
表 示 方 式：FE型液晶デジタル表示
基 本 機 能：時・分・秒・日・曜日
午前／午後（P）／24時間制表示
(24)、フルオートカレンダー（1995
～2039年）
テレメモ機能：名前（８文字）と電話番号（12桁）
を最大100件までメモリー
ワールドタイム機能：世界29タイムゾーン（40都市）の
時刻、世界標準時（GMT）の時刻
を表示、サマータイム設定機能、
ホームタイム都市設定機能
アラーム機能：時刻アラーム　５本
セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報知

ストップウオッチ機能：計測単位＝1／100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2着同時計測
そ　の　他：タッチスクリーン、自動復帰機能、
モニターアラーム、ELバックライ
ト、オートEL、12／24時間制表示
切り替え、デモ機能
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
CMOS - LSI、EEPROM
使 用 電 池：CR - 2016（電池別途販売）
電 池 寿 命：約1.5年（18ヶ月）
（１日当たりアラーム20秒間、
ライト２秒間使用した場合）

●ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
１日当たり10秒（２秒×５）使用→約13ヶ月
１日当たり20秒（２秒×10）使用→約10ヶ月

ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5 BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温度

●直射日光が長く当たったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

■磁気

●磁気の影響はありません。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

ご使用中、万一、液晶部に“CLOSE”と表示されたまま消えないときは、速やかにお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお持ちください。“CLOSE”と表示したまま裏ブタを開けるなど分解しますと、記憶したデータが消えることがあります。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損なわれることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消　　耗

●電池が消耗しますと「時計の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」することがあります。

●電池の消耗時期が近づきますと、電池切れ予告として、“▮▮▮▮▮”マークが表示されます。
このときは速やかに電池交換を行なってください。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。



〈電池切れ予告表示〉

●電池の消耗時期が近づくと…

メモリーに記憶されているデータを保護するため、データ呼び出し、入力などのメモリーを使用する操作はできなくなるなど、以下の現象が現われます。

〈テレメモモードのときは〉

データ呼び出し、入力などの操作はできません。
（ボタン操作をしても、“▮▮▮▮▮”を表示し、電池切れ予告表示となります）
なお、データ入力途中に電池が消耗すると、そのとき入力していたデータは記憶されません。

〈その他〉

ワールドタイムモードでの都市のサーチ、アニメ表示、アラーム・時報・操作確認音の報音、ライト点灯も行ないません。

■電池交換

電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。

■お客様へ

電池交換の際には、お店の方に必ずこのページをお見せください。

■ご販売店さまへ

本機の電池交換を行なう場合、以下の点にご注意ください。

●使用する電池は

電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換前のご注意

裏蓋を開けたときに、万一、液晶部に“CLOSE”と表示されているときは、電池を抜き取らず、裏蓋を閉じ、しばらくしてからあらためて裏蓋を開けるところから行なってください。なお、“CLOSE”表示のときに電池交換を行なうと、データ内容が変化したり消えてしまうことがありますのでご注意ください。

※表示が消えているときは問題ありません。

●電池交換後のご注意

電池交換後、裏蓋を閉める前に、必ず、オールクリアー（AC）操作を行なってください。

※オールクリアー操作を行なっても、データが消えることはありません。

●電池交換のご注意

裏蓋を閉めたあと、約20秒経過しても表示が正常に戻らないときは、もう1度裏蓋を開け、オールクリアー（AC）操作を行ってください。

オールクリアー操作を行なうと、内部のデータをチェックするために“WAIT”と表示されます。入力されているデータ数により、数分間かかることがあります。なお、“WAIT”表示のときには、時刻修正（22ページ）は行なえますが、それ以外の操作はできませんのでご注意ください。内部でのデータのチェックが終わると、正常に使用できます。

